

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) サノヤス造船株式会社		住所 〒 530-6109 大阪市北区中之島三丁目 3 番 23 号
本票作成	部署名：艤装工作部 動力施設課		
主たる業種	分類コード 31	業種名：輸送用機械器具製造業	
事業の概要	船舶製造 載貨重量82,000トンばら積貨物船相当で年間8隻建造		
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島製造所	倉敷市児島塩生2767番地21
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)		

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26) 年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	12,800 t CO ₂	10,280 t CO ₂	12,160 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26) 年度排出量
	①	水島製造所	10,280 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度～平成 26 年度(5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 8.9 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 鋼材加工重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26) 年度	目標年度
		113.3 kg CO ₂ /(t)	123.4 kg CO ₂ /(t)	107.6 kg CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- * 平成26年度は設備的な取り組みについては、ほぼ予定通り実施した（詳細は「実施した措置」に記載）。
- * 前年度（平成25年度）に比べ、操業量の増加に伴い、鋼材加工重量、温室効果ガス排出量ともに増加したが、原単位は5.2%改善した。要因としては、設備改善の実施とともに、省エネ委員会の活動を通じて各人の省エネ意識の向上も挙げられる。
- * 平成26年度は計画最終年度である。基準年度（平成21年度）と比べ、操業量の大幅減少に伴い、温室効果ガス排出量は目標数値を下回った。一方、原単位は目標値に及ばなかった（14.7%超過）。要因としては、CO₂削減への取組みが不十分であったこと、原単位分母の鋼材加工重量に寄与しない修繕事業を平成25年度から再開したこと、及び電気のCO₂排出係数が基準年度より大きくなったことが挙げられる。

【推進体制】

- *当製造所では、温室効果ガス削減活動を省エネ活動の一環として、次のような推進体制としている。
- *各課ライン管理職の参画による省エネ委員会を毎月開催し、エリアごとのエネルギー使用状況と原単位変動要因の分析、省エネ案件の発掘と実践、及び「ムダ（無駄）ゼロ」に力点をおいた省エネパトロール（設備部門と協同）の実施とは正改善のフォローを省エネ委員会として遂行している。
- *設備改善が生じる事案については、設備管理部門が主体となり企画立案、及び年度計画への反映を行い、実現に向け遂行している。
- *ISO14001活動として環境管理委員会をほぼ4回／年開催し、省エネを重要テーマとして取り組んでいる。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島製造所	<p>(平成26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> *二次変電室の変圧器を高効率型に更新(3台) 【CO2削減量 27t/年】 *空調機（エアコン）のインバータ化(1台) 【CO2削減量 5t/年】 *「ムダゼロ」活動 【CO2削減量 10t/年】 (昼休み消灯, パソコン電源オフ, エア漏れ削減, 船舶陸電オフなど) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> *二次変電室の変圧器を高効率型に更新 *屋外照明を省エネ型に変更 *事務所照明の配置変更、器具の改善

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- *クールビズ運動
- *全休日の設定
- *夏季デマンド管理強化
- *夏季省エネ日の実施
- *T V会議sys. 活用による人の移動削減